

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 3 月 26 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/26 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	19.9	106.5 kPa abs	A系： - <sup>*2</sup>	Vol %
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00	vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.5 m <sup>3</sup> /h	33.7	5.59 kPa g	A系： - <sup>*2</sup>	Vol %
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03	vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.6 m <sup>3</sup> /h	32.8	0.27 kPa g	A系： 0.15	vol %
		給水系：約 2.1 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.15	vol %

\*1: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

\*2: 作業に伴いデータ欠測

【1号機】・H25/3/27 電源関係の工事に伴い、原子炉格納容器内への窒素ガス封入を一時的に停止予定。ただし、原子炉压力容器内への窒素ガス封入は継続。

【2号機】・H25/3/24～3/25 原子炉建屋1階において、トーラス室調査を実施するにあたり、穿孔作業を実施。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/26 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	停止中	14.0 *
2号機	循環冷却システム	運転中	14.3
3号機	循環冷却システム	運転中	12.3
4号機	循環冷却システム	運転中	23

※: 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘッドラジンの注入を適宜実施。

\*: 代替冷却システム停止中のため、至近のデータ(3/26 5:00 時点)を記載。

【1号機】・H25/3/26 6:35 使用済燃料プール代替冷却系の電源二重化工事に伴い、同冷却系を停止。3/26 15:30、作業が終了したことから、使用済燃料プール冷却浄化系の運転を再開。運転状態について異常はなく、使用済燃料プール水温度は冷却停止時の 14.0℃から 14.5℃まで上昇したが、運転上の制限値 65℃に対して十分余裕があり、プール水温度管理上問題ない。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 ( 高温焼却炉建屋 ) ]	3/22 14:16 ~ 移送実施中

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系\*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。

\*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/26 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。

・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

・H25/1/8～ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。

・H25/3/18 18:57 頃 福島第一原子力発電所免震重要棟において、電源が瞬時停止する事象が発生。

H25/3/20 12:36 頃 電源設備の不具合に関する調査を行っていたところ、仮設3/4号M/C(A)の盤内において、端子および壁面が煤けていることを当社社員が発見。そのため、3/20 12:45 に双葉消防署に連絡。消防による確認の結果、3/20 13:57 に火災では無いと判断された。

その後、現場調査の結果、仮設3/4号M/C(A)(5A)ユニット裏面側の導体部に短絡痕を確認。また、同ユニット床面に小動物(ネズミ)の死骸(電撃痕有り)を確認。このことから、小動物(ネズミ)が導体部に接近したことによりアークが発生し、相间短絡から進展し三相短絡に至ったことが停電の原因と判断。

以上